

コミしんまつやま

三校統合により今後大きく変革する

コミュニティ振興会

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

会長 池田 重悦

平成二九年四月に三校統合した、松山小学校が開校します。

毎年恒例の地区大運動会が盛大にそれぞれの思いのこもった大会であったと思います。時勢により生徒数減少から学校の維持は難しく、急速に進む少子化への危機意識を持ちながらも各学校では閉校式に向けた取り組みが進んでいる。多くの皆様に見守られ、地域に支えられ、時を刻み教育・文化伝統を引き継ぎ地域の核として役割が終わろうとしています。この現実をしっかりと受け止め更なる発展を期待したい。

跡地利用については地域の行事の場として、また団体としての活動の場としての活用を検討願いたい。

連絡協議会の意義、地域における必要な事業更には今年度から交付金制度に変わり、自由に事業計画が策定され、よりアイデアが生かされる環境になりました。しかし、小学校との協働事業の見直しも余儀なくされ、コミュニティ振興会事業も大きく変革した取り組みが思慮され、それぞれのコミセンの特色を生かした事業を期待したい。

地域住民と行政と密に協働事業等で地域づくりを進めたいと思います。

今後も各コミュニティ振興会にご理解とご協力をお願いいたします。

節目

松山総合支所支所長兼地域振興課長

樋渡 由

節目の年を迎えています。この一〇年を経過し見えてきたものは……

各種補助制度の文言に「持続可能な地域……」という文言があります。このまま何もアクションを起こさなければ地域が自然消滅に向かつていく。そんな危機的な状況をおおるような言葉です。

それぞれの自治体が観光、ふるさと納税、子育て環境等で凌ぎ合っています。そして「協働」という文字がキーワードのように使われています。そんな流れの中のコミュニティ振興会への自由裁量の交付金措置です。より地域力を試されていることだと思えます。

会員、役員のなり手がいないという諸団体からの声が聞こえてきます。諸団体の在り方も課題になってきました。まさに持続可能な地域づくりの為の取り組みが必要になってきたのだと思います。その一翼を担う、また主体となるのがコミュニティ振興会であり、地域住民です。

小学校が一つにはなりません。これを機にこ

の松山地域がより強固な一枚岩となって、持続可能な地域、そして此処に暮らすことの誇りを発信し続けていくことが大切なんだと思います。今後とも、多種多様な事業に参加いただき、この地域の誇りを発信して頂きますようよろしくお願いいたします。

運動会の結果

【南部】

優勝 大川渡

二位 成興野柏谷沢

三位 臼ヶ沢大沼

四位 地見興屋

【山寺・松嶺】

優勝 四組（仲町、内町、新屋敷）

二位 五組（本町、新町、肴町、上竹田）

三位 三組（南新屋敷、元新屋敷、南町、荒町）

四位 一組（川先、横町、中ノ丁）

五位 六組（北町、片町南、片町北）

六位 二組（仲町、上荒町、下荒町）

【内郷】

優勝 六組（中牧田、相沢、石名坂）

二位 五組（中竹田、下竹田）

三位 三組（小見）

四位 一組（土渕、上茗ヶ沢）

五位 四組（下餅山、下茗ヶ沢、引地）

六位 二組（上餅山、上北目、中北目）

